

## 第8回 子どもに関する政策討論会議（議事概要）

日 時：令和5年11月24日（金）13:00～13:35

場 所：議事堂6階 601 特別委員会室

出席者：子どもに関する政策討論会議 委員11人（稲森稔尚委員 欠席）  
議会事務局 小西企画法務課長 ほか

資 料：事項書

資料1 子どもに関する施策の早期実施に向けた申し入れ書（案）

### 中森座長

ただいまから、第8回子どもに関する政策討論会議を開会いたします。

本日、稲森委員が欠席されますので、御了承願います。

本日は、子どもに関する施策の早期実施に向けた申し入れに関する委員間討議を前回に引き続き行いたいと存じますので、よろしく願いいたします。

また、本日の進め方でございますけれども、前回お決めいただいた申し入れ案について、各会派で御検討いただいた結果を各会派から御報告いただき、申し入れ案を固めてまいりたいと存じますので、御承知おきください。

なお、前回の政策討論会議での御意見を反映し、会派にお持ち帰りいただいた申し入れ案については、資料1として手元に配付しておりますので、御確認ください。

それでは、各会派に持ち帰って御検討いただいた結果について、各会派の代表の方から御説明願います。

それでは、新政みえさん、お願いします。

### 小島委員

新政みえは、全体了といたします。

ただ、口頭で御説明いただくときに、少し付け足していただきたいなという願いがございました。記以下の1番のところです。スクールカウンセラーについてなんですけれども、ここには「配置拡充」と書かれています。今1校に1人という状況にはまだまだなっていないんですが、人を増やして配置時間を増やすということだろうと思うんですけれども、ただその際に、例えばA小学校にはBさんというふうに、1対1の関係でどうしても決められてしまいます。ところが、

マッチングが上手くいかない、そのカウンセラーの方と合わないという状況も見受けられるのではないか。ですので、この「配置拡充」のニュアンスの中に、その選択ができる自由度を高めるですとか、その辺りをぜひ入れていただきたいなという意見がありましたので、申し添えたいと思います。

#### 中森座長

なるほど。おっしゃる内容は分かりました。またこの後、相談させていただきます。

続いて、自由民主党、お願いします。

#### 石田委員

この案で了といたします。

#### 中森座長

ありがとうございます。

草莽さん、お願いします。

#### 東委員

この案でよかったと思うんですが、ちょっと記のところの1、2、3って書いてあるところの2のところなんですけども、少しこうやってしたほうがいいんじゃないかっていう意見を2つほど言います。

1つ目は、体験活動の機会の充実もよく分かるんですが、説明文のほうに、「学校及び地域において」とあるので、「2 学校及び地域において体験活動の機会の充実」とした方がよりタイトルとして分かるんじゃないかという意見がありました。なるほどと会派の中ではまとまりました。

それから、2点目なんですけども、その次の行に、「貧困世帯をはじめ全ての子どもたちにその機会が提供できるよう」と書いてあるんですが、全ての子どもたちにとというのが、最初からこの体験活動については全ての子どもたちの最善の利益を求めて子どもたちを支援するという意味合いからすると、この「貧困世帯をはじめ」というのは取ってもいいんじゃないかと、無くしてもいいんじゃないかという意味のことを会派の中で打ち合わせして、なるほど、もう貧困とかっていうくくりではなくて、全ての子どもという意味では、そこは無くてもいいね

ってという話になって、ここで提案したいと思っています。以上2点です。

#### **中森座長**

ありがとうございます。また後刻、相談しましょう。  
公明党さん。

#### **今井委員**

私どもは、この正副議長の作っていただいた案で、賛成をさせてもらいたいと思います。この後、いろいろ意見交換もあると思いますが、3月末にはもう少し先も見据えたものをやっていただくということで、今回は予算に関わってくるということで、この申し入れ書に賛成したいと思います。

#### **中森座長**

わかりました。ありがとうございます。

なお、本日欠席の稲森委員が所属する会派の草の根運動いが、及び入っていない日本共産党については事務局に意見聴取させましたので、事務局から報告していただきます。

#### **小西企画法務課長**

草の根運動いが及び日本共産党、両会派いずれもこの案に対して意見なしと伺っております。

#### **中森座長**

原案どおりでいいということですね。

全ての会派から御意見が出たということでございます。

それでは、各会派からの御意見を踏まえて、委員の皆様から今いただいた意見を踏まえて御意見等がございましたら、お願いいたします。

まず1つ目ですね、順番に行きましょう。新政みえさんからいただいた、口頭ではありますけれども、スクールカウンセラーの配置拡充に関して、マッチングというか、特定のスクールカウンセラーとなるといろいろと課題があるので、選択ができるような拡充をすることによって、それを解消できるという趣旨を口頭で付け加えてほしいと、こういうことだと思えます。これについてはどうです

か。

### 今井委員

僕も確認させてもらいたい。口頭でっていうことなので、文章には入らないと思うんですけども、それはスクールカウンセラーさんが複数おってもらって、面談してもらって、この方がいいんですよっていうのを指定してもらおう。子どもさんにもいろいろ相性ってあると思うんですけども、一方で、なぜこんなことを言うのかっていうと、私どもの住んでいるところの地域の学校区は変えてくれるなど。もしよそのあそこがいいのであの人に来てもらいたいとかってなっていくと、そっちがしわ寄せいくと思うので、スクールカウンセラーさんは、今でも人数がちょっと足りない状況の中で、どのように選択、選んでもらえるような体制を作るのかっていうのは現実問題としてどうやってできるんですかね。

### 小島委員

何人かの中から誰かを選ぶということは、今の配置状況の中では、実際には不可能だと思います。

ただ、親御さんも子どもたちも一度その学校に配置されているスクールカウンセラーさんとやりとりをして、やっぱり合う合わないってあると思うので、どうもこの人ではない方ともう一度話をしたいなというときに、ほかの方をお願いできないでしょうかというようなことを言える体制が今あまり作られていないかなと思いますので、学校の人をガバっと変えてくれというニュアンスではなくて、より一つ一つのケースに丁寧に対応できるような、そのような幅を持たせていただきたいということで、意見が出たというふうに理解をしています。

ですので、この方をぜひっていうことであれば、それはもちろんその学校に行っていて、ただ、中には親御さんも子どももその方ではという方がいらっしゃるときに、別の方をお願いをすることができるようにしてほしいということです。

### 今井委員

理想的にはそうできたらいいんだと思うんですけども、各スクールカウンセラーさんの配置、持ち場っていうのが決まってるんだと思っています。その中で、複数、その方が合わないのが違う方となった場合に、同じ学校の中でも合うとい

う人と合わないっていう人がおった場合に、選択をできるような、それだけの拡充ができたらいいなというふうに思います。

学校以外でそういった場所を作るのか、その学校担当のスクールカウンセラーさんをこの人にしてくださいっていうのを、カウンセラーさんにお世話になる子どもさんや御家族のほうで、学校に配置なので、この人は駄目って言ったら違う人に代わってもらってということですか。

### 小島委員

具体のやり方はいろいろあるかと思うんですが、そこまでを求めているわけではありません。

例えば、A小学校に来ているその方とは少し合わないかもしれない。お隣のB小学校に来ている方にもし空きがあればお願いをして、そこで実際の面談をすることは可能かどうかとか、その辺り今全くかほとんどないので、もう少し幅を持たせてほしい。でないと、少ない時間、決められた方がいる中で、合わないから遠ざかっていくというのは、やっぱり制度の趣旨からも余りにももったいないし、もう少し幅を持たせてほしい。実際マッチングが上手くいってなくて、ちょっと辛いなという方がいらっしゃいますというような御意見もありましたので、その辺りを完全に解消はできないのかもしれませんが、その方向を目指すことはぜひお願いできたらなと思います。当然、時間を増やすことが前提には必要です。

### 今井委員

ありがとうございました。僕も本当にとっても大事なことだと思います。

それで私も言わせてもらったように、私の住んでいるところの学校区では、本当にもうこの人をずっとお願いしたいというほど、やっぱり親御さんもお子さんも心を開いていろいろ相談できるという体制作りが必要なので、その意味で確認させてもらいましたので、よく理解させてもらいました。

### 中森座長

趣旨の目的を達成するためには、そういうケースになった時は対応できるような幅の広い複数のスクールカウンセラーに存在していただくことによって可能になる、道が開けるということも可能ですので、そういう意味を踏まえて少し

口頭でそのニュアンスをお伝えさせていただきたいと思います。

ということでよろしいですか、この件につきましては。

(「それで」と発言する者あり)

では、承りました。そういうことを踏まえて、提言させていただきたいと思  
います。

続いて、草莽さんから御指摘をいただいた記2の項目について、まず、表題の  
「体験活動の機会の充実」の前に、「学校及び地域における」を追記した方がよ  
り適切ではないかという御意見ですが、このことについてはよろしいですか。

(発言する者なし)

文章変わるわけではないので、丁寧になるだけですね。これは具体的に、丁寧  
に表題を補充するというので、修正させていただきたいと思います。

もう一つ、中身で、全ての子どもたちにその機会が提供できるよという趣旨  
からすると、「貧困世帯をはじめ」という前置きは省略してもいいのではないかと  
いう御意見ですが、このことに対しましてどうですか。

#### **今井委員**

私もそのことには今聞かさせてもらって賛成したいと思います。

一方で、「貧困世帯をはじめ」というところはやはり先日来、ここでも出て  
いますその参加費用のこととか、そういったことも含めて特出しでおそらく正  
副議長に入れてもらったと思うので、口頭で申し入れの時に、本当に体験活動は  
全ての子どもたちというのが大事で、その中で特に貧困家庭のお子さんに関  
してはその参加費用のこととかが心配されるので、ここは口頭でそのことも言  
っていただいて、文章的には「貧困世帯はじめ」を取っていただいていいと思っ  
ております。

#### **中森座長**

全ての子どもたちということが主語というか、メインですので、その入り方  
ですので、口頭で少し触れるぐらいで、文章には削除するというのでどうです  
か。

#### **小島委員**

前文をずっと読ませていただくと、「加えて」のところですよ。私たちが様々

有識者から聞き取った中で、コロナ禍による体験の減少は全ての子どもたちに影響があるというふうなお話を聞かせていただきました。

ただ一方で、この「加えて」のところに、「貧困世帯の子どもたちは、(…) 様々な面で不利な状況に置かれてしまう傾向」にあるというふうにあります。そのこともまた有識者の方々から聞き取ったと思っています。もちろん全ての子どもたちにその体験の機会を保障することは必要だと思いますが、コロナ禍の影響をできるだけ少なくするためにどうしたらいいかという観点から考えると、私はこの言葉を外すべきでないというふうに思います。全ての子どもたち、もちろんそうなんだけれども、その量、質、金銭的な面も含めて保障すべき多さというんですかね、必要性の多さから考えると、私はこの言葉はやっぱり大事にして入れておくべきではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

#### **中森座長**

という御意見をいただきました。

全体的な話は変わらないんですけども、その辺の表現を、前文にわざわざ「加えて、貧困世帯の子どもたちは」云々という、あえて説明を付け加えているということで、ここにあるからいいとか、あるからこれを残すべきだと、どちらかかなと思うんですけども、ほかの委員さんどうですか。

#### **東委員**

今、貴重な御意見を2人からいただきました。

特に、小島委員のおっしゃることは、貧困世帯が特に体験活動しやすい環境を作るべきだという趣旨もよく分かりますので、ここは記2のところの文章3行ですけども、「貧困世帯においては特に参加しやすい環境を整備すること」とか、追加してもいい感じはしますね、逆に。

全ての子どもたちというのがやっぱり大前提であると思うんです、この体験活動については。ただ、費用面の問題、今井委員がおっしゃったように、費用面でギャップが当然出てくると思うので、つまり参加費について、特にその辺の配慮が必要であれば付け加える必要があるかもわかりませんっていう感じはしました。

## 中森座長

今の御意見は、一旦は「貧困世帯をはじめ」を削除し、文章は「講じること。特に貧困世帯においては、こういう状況については特段の配慮を願いたい」とそういうような表現に修正すると。2段書きにする。

前置き文章はこうなっていますので、前置き文章を変えるつもりは今ないと皆さんおっしゃるので、これを尊重するがゆえに、記については改めて申しますけれども、「貧困世帯をはじめ」というのを削除して、「全ての子どもたちに必要な施策を講じること。特に、貧困世帯においてはこういう状況であるから十分特にこれを強化する」と、こういうような追記をしながら補強するというか、強調するというか、そのような御意見ですが。

というように、ちょっと一部修正を加える。全体には変わってないんですけどね。こういう御意見をいただいたということで、修正させていただくことでよろしいですか。暫時休憩します。

(休憩)

## 中森座長

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

先程、御意見をいただいた子どもに関する施策の早期実施に向けた申し入れ案の修正部分について、改めてお諮りをいたします。

前文は変えずに、記について、1番はそのまま。2についてはタイトルを「学校及び地域における」を追記し、体験活動の機会の充実と、このように表題を改めると。本文の3行目にあります、既にある「貧困世帯をはじめ」をまず削除します。読み上げます。「学校及び地域において、体験活動の機会の更なる充実を図るとともに、全ての子どもたちにその機会が提供できるよう、必要な施策を講じること。特に貧困世帯に対しては、周知や参加方法について配慮すること。」このように修正案を今提案させていただきます。3番の学習支援はそのままということで、皆さんの御意見をいただいたところについて、修正案を今、口頭で申しました。いかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

特にないようでございますので、修正案をこの場の案と決定させていただき、申し入れ書(案)については御異議ないものとさせていただきます。ありがとう



ございます。

これでまとめさせていただきましたので、それでは、本日いただいた御意見を踏まえた修正及び必要な整理については、今申し上げましたとおりでございます。

なお、申し上げたとおり、修正したものをもって、本日の申し入れ書を確定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

ありがとうございます。それでは、そのようにいたします。

小さな文言については、趣旨が変わらない範囲でということですが、正副座長において修正もあるということを御了承いただきたいと思います。

（「異議なし」と発言する者あり）

それでは、そのように決定をいたします。

なお、決定した申し入れ書については、後日各委員に配付させていただきます。

また、知事への申し入れについては正副座長で対応したいと思いますが、それでよろしいですか。

（「異議なし」と発言する者あり）

では、そのようにいたします。

なお、知事に申し入れをすることについては、後日、代表者会議において、私からお諮りさせていただきますので御承知おきください。

次に、次回の政策討論会議については、年度末に行う提言について御協議いただきたいと存じますが、日程等の詳細については、この後の委員協議で御協議いただきたいと存じますので、御了承願います。

本日、御協議いただく事項は以上となりますが、ほかに何かございませんか。

（発言する者なし）

ないようでございますので、以上で第8回子どもに関する政策討論会議を閉会いたします。

委員の方は御協議願うことがありますので、そのままお待ち願います。

（以上）